

児童発達支援・放課後等デイサービス コモド琴似

2019年度 自己評価表

1. 保護者等からの事業所評価の集計結果（児童発達支援）
2. 保護者等からの事業所評価の集計結果（放課後デイサービス）
3. 事業所における自己評価表（児童発達支援）
4. 事業所における自己評価表（放課後デイサービス）

公表：令和 年 月 日

事業所名	チェック項目	保護者等数（児童数）				回収数	割合	%
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない			
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5	3	0	0	未就学児のみでは十分ですが、小学生もいる場合は狭いと思います。	パーテーションを使用して小学生と就学前の児童を分けての活動をするスペースを設けています。	
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	8	0	0	0		月1回の社内研修や状況に応じて勉強会を開いています。また、外部研修等にも積極的に参加しています。今後もより一層、専門性を高めていきたいと考えています。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	1	0	2	生活空間はパーテーションで区切るなどし、わかりやすく工夫されていると思います。バリアフリー化に関しては不明です。	危険がないように環境整備を行っています。パーテーションを使用して場所を区切り工夫しております。また、絵カード等のツールを使用して視覚支援を行っています。	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7	1	0	0	子どもたちをしっかりと見ることができ空間だと思います。	玩具の配置を分かり易くするため、絵カードを貼っています。遊びでは遊ぶ内容や活動によって年齢分けなどを行っています。また、今年度より室内にエアコンを設置しています。	
適切な支援の提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	8	0	0	0	とても細かく子どもの行動や性格等を観て作成してもらっています。	保護者様と面談したり、アセスメントシートを用いることで、ご家庭からの意向を聞くなどして分析し、作成しています。	
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	0	0	1	我々には把握しきれない部分に対して、プロの仕事をしてくれていると思っています。	関係機関と連携をとりながらより必要な支援を行っていきたく考えています。	
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7	0	0	1	行われていると思います。	支援計画に沿った支援を心がけています。	
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	7	0	0	1	様々なゲームや歌、遊びなどを日ごとに変えていて工夫されています。	毎週チームでプログラムを作成し、全員で確認しており、お子さんの課題に合わせた活動を考えています。	
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	2	1	3	デイではそういった名目の活動はなかったと思いますが、よく公園で遊ばせてくれているので、その中で障がいのない子どもと接する機会があるかもしれません。	地域の児童館や図書館、公園等で交流する機会があります。	
保護者への説明等	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7	1	0	0	何かあった時、書面でしっかり説明してもらっています。	契約時や変更の際は詳細に説明させて頂いています。	
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がされたか	8	0	0	0		ガイドラインに沿った支援内容を心がけています。	
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	6	1	1	0		保護者会、見学会等で様々な支援をさせて頂いています。また、月1度の広報文などで療育内容を回らせて頂いています。	
	⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、共通理解ができていくか	8	0	0	0	毎回1日の状況を伝えてもらい情報共有、共有理解をしてもらっています。	送迎時や連絡ノートにて情報交換を行い、共通理解を図らせて頂いています。	
	⑭ 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7	0	0	1	行われています。	送迎時や支援計画説明の際に行っています。	
	⑮ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	0	0	2	親子レクには父が参加し、普段父親が関わる機会がないので、とてもありがたいです。	保護者会、見学会の開催や今年度は親子レク会を開き、父親の方々にもご参加いただいています。	

	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	8	0	0	0	詳しく話を聞いていただいて頼りにしています。とても満足です。	相談等の際はできるだけ、迅速に対応させて頂いております。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8	0	0	0		保護者様とは連絡ノートを利用して情報交換を行っています。また、児童には給食メニューを使用し定期的に発信しております。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	8	0	0	0		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	8	0	0	0		今後も一層の管理を徹底していきます。
非常時の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	7	1	0	0		マニュアルを作成し保護者の方々にも配布し、周知させて頂いております。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	0	0	0		定期的に訓練を行い、非常時に備えております。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	8	0	0	0	とても楽しみにしています。公園、水遊び、施設等色々連れていっていただき、ありがとうございます。	今後も楽しく通っていただけるよう、子ども達一人ひとりに寄り添いながら安心した援助で「できる」を増やしていきたいと思っております。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	7	0	0	1	大満足です。いつもありがとうございます。	今後も児童のニーズに応え、保護者の方々にも安心と信頼に応え、ご満足いただけるよう努力してまいります。

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

公表：令和 年 月 日

事業所名	チェック項目	保護者等数（児童数）				回収数	割合
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4	2	3	0	コソド等似のスペースは少し狭いと思いますが、その中では最大限取っていただいていると思います。	今後、個別スペース（相談室）を作っていく予定です。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	7	1	1	0	心理士やST、OTの方もいれば心強いです。	月1回の社内研修や定期的に勉強会を開いています。また、外部研修にも積極的に参加しています。また、OT、ST等の専門分野が必要な際は、各専門機関との連携を取っていきます。
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	0	3	3	2	バリアフリー化に関しては不明ですが、夏に伺った際、室内が暑く子どもかなり汗をかいていたので、エアコンを設置していただきました。	バリアフリー化はされていませんが、危険がないよう環境整備をおこなっています。また、今年度よりエアコンを設置しています。
適切な支援の提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	9	0	0	0	とても親切に接していただき子どもにとって良い支援計画を作成している。	今後もアセスメントシートを利用したり、面談の上でニーズ把握を行っていきたいと思います。
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	7	2	0	0	自由遊び、集団遊び、調理など色々なプログラムがあって良いとおもいます。	毎週、支援計画に沿った個別集団活動を考えております。
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	3	3	2	機会がありません。	公園等で交流する機会はあります。
保護者への説明等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9	0	0	0	いつもありがとうございます。	支援の内容は送迎時、連絡ノートまたは面談等で説明させて頂いています。また、利用者負担については契約時や変更の際に説明しております。
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていますか	8	1	0	0	送迎時、その日の状況の連絡は職員により差がありそうです。	送迎時や連絡ノート等、必要に応じて電話や訪問で情報交換し、共有しております。送迎時、他の子どもも乗車していることもあり、時間が十分に取れない状況もあるため、相談時は電話、ノートに書いていただければと思います。
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	0	0	0	とてもよく困りごとに対しての助言や対応の仕方を教えてくれる。	保護者面談や広報文で育児について載せたり、必要に応じてその都度、保護者様とお話させて頂いています。
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	1	0	0	保護者会や親子レクなどが親同士のつながりの場になる。	保護者会や見学会の他にも今年度は親子レクを開催し、お父さんにも参加していただいています。
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	0	0	1	苦情が出ていると感じたことがないため「わからない」としました。	有事にはすみやかに行動することを心がけ、対応させて頂いています。
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8	1	0	0	配慮されていると思います。	保護者支援では、連絡ノートを使用しています。利用しているお子さんとは、スケジュール表を活用して1日の流れを伝えたり、交換日記で内面的な交流も行っています。
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	8	1	0	1	ブログや月々の通信で情報が伝わるのが良いと思います。	当事業所のHPにて定期的に発信させて頂いています。
	⑭ 個人情報に十分注意しているか	8	0	0	2		今後も守秘義務を意識し、管理の徹底をしていきたいと思っています。
非常時等の対応	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9	0	0	0	資料等を頂いています。	マニュアルを作成し、保護者様にも配布しています。
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	0	0	0	避難訓練をしっかりとしているので安心です。	定期的に訓練を実施しております。昨年、大きな地震も発生したこともあり、さらに意識を高めています。
満足度	⑰ 子どもは通所を楽しみにしているか	7	2	0	0	とても楽しみにしています。いつもありがとうございます。	個別支援もより一層重視し「できる」を増やし、自己肯定感が高まる様、支援していきます。
	⑱ 事業所の支援に満足しているか	8	1	0	0	いつ通所しても楽しく利用できると期待しています。	今後もサービスの質を向上させ、利用者の方々にご満足いただける支援を心がけていきたいと思っています。

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所名

公表：令和 年 月 日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1	2	2	活動によってはスペースを分けるなど工夫を取り入れています。	今後も活動前の仕切りやスケジュールに沿った行動のための環境づくりを意識していきます。
	②	職員の配置数は適切であるか	4	1	0	適切な人員を配置しています。	児童に対し、把握に必要な人員配置、設置を考えていきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3	2	0	危険がないように環境整備を行っています。現在はバリアフリー化の必要な方の受け入れはありません。	バリアフリー化は行っていませんが、歩行に困難があるお子さんがいたり、危険が想定される場所においては配慮・危機管理を徹底していきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5	0	0	掃除や換気に配慮しています。また、パーティションを立てるなどして必要に応じて空間を確保しています。	過ごしやすい環境は状況によって常に変っていくため、日々の中で必要とされるニーズへ応えていけるよう、場所づくりを意識していきます。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	2	0	職員間でノートを使用し共有を図っています。	共有ノート、口頭での情報共有はすみやかに進めていきます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0	0	保護者の意見等周知を徹底し、必要に応じて改善を図っています。	保護者様のご意見に加え、改善が望ましい状況はすみやかに対応していきます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	0	0	自己評価を行い、事業所HPにて公開しています。	自己および保護者様よりいただいたアンケート結果を支援に反映し、よりよい形の療育を目指していきます。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	1	2	第三者による外部評価は行っていません。	今後、第三者を交える機会がある場合は、評価から得た結果の公表等行っていきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	1	0	社会研修や外部研修等積極的に参加しています。	研修内容に事例を利用したアセスメントトレーニングや多職種に渡る外部研修に参加して専門性を高めています。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5	0	0	保護者にもシートに記入していただき細やかなニーズや課題を分析して作成しています。	シート、面談、保護者会等で得た保護者様からの情報を基により細やかなニーズに応え、支援計画に反映していきます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	0	0	アセスメントツールを使用しています。	ツールを使用した上で、必要とされる支援を引き出しています。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	0	0	ガイドラインに沿って作成しています。関係機関との連携や家族支援を重視しています。	児童発達支援計画を作成した後、保護者様との面談を行い、具体的な支援内容の説明や細やかな情報・内訳の共有を図っています。

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5	0	0	支援計画に沿った支援を心がけています。	支援を行う中で変化を記録に残し、新たに表出するアセスメントを支援に反映していきます。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	0	3人チームで立案しています。	活動を考える中で、それぞれの課題や目標を設定することで、子ども達の「できる」を増やしていきます。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	0	季節行事を入れたり様々な遊びを取り入れています。	季節ごとに制作物を作り、四季に対する意識・関心意欲を刺激しています。また、遊びが単調化しないよう、新しい遊びを模索したり、ルールを変更するなど柔軟な工夫を取り入れています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	5	0	0	その子に合わせた支援計画を作成しています。	個別の関わりでは、本人のみでの対状況を作り、支援しています。集団活動の場では課題となる部分を評価し、常に支援計画に反映させています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	1	0	前日に活動内容を確認し、当日に役割を確認する場を設けています。	当日の児童の様子や想定される状況を考慮し、即時対応できるように情報共有を図っていきます。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	1	0	その日の振り返り、支援などについて共有を図っています。	状況を振り返り、打ち合わせの中で他者評価とすり合わせた上で、新たな支援内容を立てていきます。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0	記録をとることを徹底しています。又、支援内容などについて話し合いをしています。	記録を基に支援計画との統合性を図り、評価を行った上で、改善点や新しいアセスメントを模索します。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	0	シートを使用してモニタリングを行い、支援計画の見直しを行っています。	モニタリングから得た評価を共有し、各意見を募ったうえで新たな支援計画を立てていきます。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	0	児童発達支援管理責任者が出席しています。	会議で得た情報を有益なものとして事業所内で共有しています。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	3	2	0	保護者を通して情報提供して頂いています。	幼稚園・保育園等の関係機関と面談を行い、より正確な情報共有を行っています。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	0	2	3	項目に該当していません。	項目に該当していません。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	0	3	2	項目に該当していません。	項目に該当していません。

係機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	1	3	1	支援計画の掲示と面談、情報交換を行い、共有を図っています。	面談時に移行に際しての状況・状況の想定等も思案していきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	0	0	支援計画の掲示と面談、情報交換を行い、共有を図っています。	面談時に移行に際しての状況・状況の想定等も思案していきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	2	0	今年から年2回、支援センターから助言を受けています。又、西区内の他事業所との研修に参加しています。	研修には定期的に参加しており、他事業所との情報交換の場にもしております。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	1	3	児童会館、図書館等で交流する機会を設けています。	交流の際は子ども達にも積極的に関わってもらっています。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	0	1	4	現状は参加できていません。	現状は参加できていません。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	0	送迎時や連絡ノートを使用して情報を伝え合い、共通理解を図っています。	ツールを使用しての情報交換以外にも実際に訪問・来所していただき、お子さんの様子や今後の課題等を話しています。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	5	0	0	保護者会や見学会等を通して家族支援を行っています。	今後も各会を通してペアレントトレーニングの質の向上を目指します。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	0	契約時に詳細説明を行っています。また、変更がある場合は面談して説明しています。	今後も説明時にはわかりやすく、正確に情報を伝えていきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5	0	0	必ず自宅か当事業所にて保護者と面談し、説明を行っています。	面談時は、保護者様への理解が得ていただくため詳細な説明を行っています。また、疑問にもお答えしていきます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	0	送迎時や連絡ノートにてアドバイス等をさせて頂いています。	今後も悩みや必要と思われる場面では積極的に相談・助言の機会を持って行きます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	0	0	保護者会、見学会、親子交流会等の機会を利用し、保護者同士の連携が図れるようにしています。	今後も保護者様と会合できる機会をより多く持ち、密に連携を取っていただけるようにします。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0	可能な限り迅速な対応を心がけています。	迅速な対応と、安心感を持っていただけるよう取り組んでいきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0	月1度の広報文を発行しています。	広報文にて療育についてのアドバイス・例を載せることで保護者様への専門的情報掲示等も行っています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5	0	0	使用後の資料等はシュレッダーで裁断するように徹底しており、今後も情報の流出を防いでいきます。	今後も守秘義務徹底を心がけていきます。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	0	絵カード等のツールを使用した視覚支援を行っています。	視覚支援に合わせ、口頭で分かり易く説明していきます。

	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	0	4	今後、地域の方との交流の場を企画検討しています。	連携が可能になり次第、企画していきます。
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	0	0	各対応マニュアルを作成しています。また、年間行事にて訓練を組み入れた上で実施しています。	緊急時の行動想定パターンを検討していき、有事に備えての訓練を積んでいきます。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	0	定期的に行っています。	訓練前に子ども達へ緊急時の様子の実例を話し、実際に想定してもらいます。
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	5	0	0	健康調査票にて確認しています。内服薬の変更時には処方箋を頂いています。	内服薬を預かる場合は、管理を徹底し、規定の時間で服薬となるよう職員間で共有していきます。
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	5	0	0	保護者を通して指示を頂いています。又、検査データの写しを頂いています。	指示の通りの対応を心がけ、ミスのないよう意識していきます。
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	0	リスクマネジメントの勉強会を開いて共有を図っています。	今後、実例を用いての検討会等も考えております。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0	0	活動前に状況の想定や予測を行い、防止について話し合いをしています。	虐待と疑わしき行動・行為について話し合い、防止を徹底していきます。
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5	0	0	身体拘束は行っていません。	身体拘束は行っていません。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表：令和 年 月 日

事業所名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1	2	2	小学生と就学前の子どもたちを分けて活動する等、工夫しています。	今後も活動前の任切りやスケジュールに沿った行動のための環境づくりを意識していきます。
	②	職員の配置数は適切であるか	4	1	0	適切な人員を配置しています。	児童に対し、把握に必要な人員配置、設置を考えていきます。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	0	5	0	危険がないように環境整備を行っています。バリアフリー化はされていませんが、職員が注意して対応しています。バリアフリー化が必要な児童は現在いません。	バリアフリー化は行っていませんが、歩行に困難があるお子さんがいったり、危険が想定される場所においては配慮・危機管理を徹底していきます。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	0	0	職員間でノートを活用して情報共有し、周知の徹底を図っています。	共有ノート、口頭での情報共有はすみやかに行っていくようにしていきます。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0	0	保護者様の意見を把握し、話し合いをして改善に繋げています。	保護者様のご意見に加え、改善が望ましい状況はすみやかに対応していきます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	0	0	当事業所HPにて公開しています。	自己および保護者様よりいただいたアンケート結果を支援に反映し、よりよい形の療育を目指していきます。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	2	0	相談室などの話し合いの機会を設けていますが、評価はお願いしていません。	今後、第三者を交える機会がある場合は、評価から得た結果の公表等行っていきます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	0	社内研修や外部研修に積極的に参加しています。	研修内容に事例や検討会などを取り入れることでより職員の質の向上を目指していきます。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	保護者様にもお子さんの様子や意見等をシートに記入していただき、細やかなニーズを把握し、必要な支援計画を作成しています。	シート、面談、保護者会等で得た保護者様からの情報を基により求められているニーズを支援計画にて実現できるよう検討していきます。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	0	0	アセスメントツールを活用し、モニタリングしています。	スケジュールボードを使用し、来所後の日課を作っています。得られる結果はモニタリング後、支援計画へ反映していきます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	0	3人チームを組んで立案し、全体へ共有しています。	未就学・就学の児童で遊びのレベルを調整したり、協同で出来る遊びも考案しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	0	1週間おきに支援計画に沿ったプログラムを作成しています。	活動プログラムの中で、お子さんの課題となっている部分を掘り下げ、"できる"へ変えていく支援を心がけています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	0	0	平日の放課後の活動と長期休暇に応じて課題を設定しています。	設定した課題を後に検討し、次の長期休暇の過ごし方へ向けて改善策を検討します。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	お子さんの現状を把握、分析した上でそれに合わせた個別活動と集団活動を組み合わせています。	個別活動・集団活動を通して本人の苦手意識改善や困り感を軽減させていきます。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	0	前日に支援内容を確認し、当日に役割分担の確認をしています。	当日にも再度、打ち合わせを行い、各担当、状況の想定を行っています。

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	1	0	送迎後、職員間で振り返りを行い、共有して次へ繋げています。	支援内容の振り返りと反省を行い、次回に向けての対応等話し合いを行います。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0	記録を書く際は他職員と情報を共有しながら正しく記入するよう努めています。	記録を基に支援計画との統合性を図り、評価を行った上で、改善点や新しいアセスメントを模索します。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	0	定期的に支援計画の見直しを行っています。	支援計画内容を達成している場合は、モニタリングの中で新たな課題を立て、支援へ繋げていけるようにします。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	5	0	0	ガイドラインに沿っての支援を心がけています。関係機関との連携や家族支援も重視しています。	関係機関とは電話・面談等の機会をつくり、情報交換を行っています。家族支援に関しても、連絡ノートや電話等で状況をお伝えしており、面談を行うこともあります。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	0	児童発達支援管理責任者が参加しています。	会議で得た情報を有益なものとして事業所内で共有しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	0	0	保護者を通して情報共有を図っています。また、送迎時の対応は学校と直接行っています。	学校機関との面談を行い、より正確な情報共有を行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				今現在、医療ケアの必要な児童はいません。	今現在、医療ケアの必要な児童はいません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	0	0	支援計画等で共有を図っています。	共有していただいた情報を基に移行時に万全の配慮ができるよう子事が蹴ります。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				該当者がいません。	該当者がいません。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	0	0	今年から年2回、助言等を受けています。	研修には定期的に参加しており、他事業所との情報交換の場にもしております。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	0	0	児童館や公園等で遊びの輪に加わる機会があり、交流しています。	公園での集団活動などで参加してもらう場合は子ども達にも積極的に関わってもらいます。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか				現在利用者が幼・小学生のため、参加していません。	現在利用者が幼・小学生のため、参加していません。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	0	送迎時や連絡ノートで情報交換しています。必要に応じて直接お電話や自宅訪問し、面談しています。	送迎・ノートによる情報以外にも見学会を開き、実際にお子さんの様子を観て頂く機会も用意しています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	0	0	支援計画説明時や保護者会等で勉強会を行っています。また、月に1度の広報で療育についての情報掲示をしています。	広報文を通して療育への理解を深めてもらい、より共通理解を深めていきます。

保護者への説明責任等	③①	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	0	契約時に詳細な説明を行っています。	今後も説明時にはわかりやすく、正確に情報を伝えていきます。
	③②	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	0	その都度、電話や面談でアドバイス等を行っています。	アドバイスはより具体的に、納得していただける形で伝えていくよう配慮します。
	③③	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	0	0	保護者会や見学会、親子レクなどを開催しています。	今後、保護者様にも気軽に参加していただける企画を増やし、お子さんの様子を直に観て頂ける機会を増やしていきます。
	③④	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0	すみやかに連絡を取り、適切な対応を心がけています。	職員間の情報共有・事実確認を行うと共に、迅速な対応を行っています。
	③⑤	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0	月に1度、広報文を発行しており行事予定や体制、療育についてお知らせしています。	事業所内の情報だけではなく行事等で公共の場へ出た際の様子も掲示していきます。
	③⑥	個人情報に十分注意しているか	5	0	0	使用後の資料はシュレッダーで裁断するよう徹底しています。今後も管理の徹底を図っていきます。	保管場所についても施錠を行う事で機密保持を徹底します。
	③⑦	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	0	絵カード等のツールを使用した視覚支援をしています。	その子どもに合ったツールを保護者様にも共有し、ご家庭でも活用していただけるよう考えていきます。
非常時等の対応	③⑧	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			5	今後、地域参加型の催しなどを検討しています。	
	③⑨	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	0	0	各対応マニュアルを作成し、保護者様にもお渡ししています。	緊急時の連絡先として共通の固定アドレスを設置することで、スムーズに連絡を取り合えるようにしています。
	④①	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	0	定期的に行っています。	非常時訓練にて具体的に事例や書籍等を利用して子ども達自身の防災意識を高めています。また、消防センター見学で火災・地震における動き方や体験を通して学んでいます。
	④②	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0	0	勉強会を行ったり、研修を受けています。	虐待に関する研修に参加し、理解を深めていくことで虐待防止への意識を高めていきます。
	④③	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか				身体拘束をしていません。	身体拘束をしていません。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	0	0	保護者を通して指示を受け、確認しています。また、検査データのコピーを頂き、詳細を把握しています。	保護者様からの指示の通りに対応を行っていますが、予期しないアレルギー反応が確認された場合は即座に保護者様、医療機関への連絡を行います。
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	0	リスクマネジメントの研修を行っています。	ヒヤリハットの実例に基づき、対応の仕方・原因等を検証し支援に反映させていきます。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。